

「三田市産業創造戦略」見直しに係る意見交換会

1 実施概要

No.	団体	日時	場所
1	関西学院大学	令和 6 年 5 月 27 日 (月) 10 時	関西学院大学
2	三田市商工会	令和 6 年 5 月 27 日 (月) 16 時	市役所
3	ハローワーク三田	令和 6 年 5 月 29 日 (水) 14 時	市役所
4	一般 (公募)	令和 6 年 5 月 29 日 (水) 19 時	市役所
5	テクノパーク企業協議会	令和 6 年 6 月 4 日 (火) 15 時	そろばん亭

2 意見の概要

1 関西学院大学

- ・ターゲットがわかりにくく総花的。課題の整理と具体施策の関係性が見えるとわかりやすい。
- ・理系学部の技術移転にあたって、三田の事業所に大学の研究成果を受け入れる人材がいらない。理系の博士くらいが必要で、大学の知識を技術に受け止める機能が事業所に必要。
- ・関学のインキュベーション施設は、研究開発型のスタートアップのほか、スモールビジネスや学生活動などそれぞれのレイヤーに切り分けて広くカバーできるのではないかな。
- ・スタートアップを考えた時に、三田市で起業するメリットがあると良い。例えば、企業誘致のよく取られる手法だが、光熱水費の減免など。

2 三田市商工会

- ・シンプルに一般の人でもわかりやすいように、経営者が取り入れられるような戦略になれば良い。
- ・商工業の振興が目的だが、ワクワクするような内容、夢が語れたら良い。
- ・女性の起業相談はかなり増えているが、自分の中の世界でとどまるケースが多い。
- ・既存の事業をどのように引き上げるのかが見えたら良い。

3 ハローワーク三田

- ・ 高校生の求人などは出してもなかなか採用につながらない。市とも連携し三田に根付いた就職を考えるきっかけ作りが必要。
- ・ 求人について、医療、福祉、製造業で上がっていたが、それ以外は若干下がっている。
- ・ 大阪への通勤をやめて三田で働ける場所を探すシニア層が増えている。3月に仕事を辞めて雇用保険の受給に来る65歳以上の割合が増えた。
- ・ ハローワークの窓口はシニア層が多く、60歳前半は若いと感じるくらい。一方、支援が必要な者を除いて若年者は窓口には来ない。

4 一般（公募）

- ・ 5年間と期間が限られているので、選択と集中が必要。
- ・ 「ひとづくり」のところで多様な人材の活躍支援とあるが、外国人も含めても良い。
- ・ 市の情報発信力が弱い。ライン配信もしているが市民にしか伝わらない。
- ・ 三田市に今いる人にアプローチしても良くなれないと思う。できる人は皆出ていくため。関学生も就職先は東京。逆に市外から来てもらってイノベティブなことをしてもらわないと生き残れない。
- ・ 企業誘致で子どもが喜びそうな企業が欲しい。ファミリー世代が三田のどこかに出かけていくという話は聞かない。
- ・ 推進体制のところ、今後の連携も想定して「JC」も入れて欲しい。

5 テクノパーク企業協議会

- ・ 交通渋滞が改善されている感覚はない。
- ・ 人出不足。三田で求人しても集まりが悪い。
- ・ 外国人の雇用促進の取組はどうか。